

# 競技注意事項

2026 中学選抜混成

1 本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

## 2 アスリートビブスについて

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。
- (2) 跳躍種目は胸または背につけるだけでよい。
- (3) トラック競技の1000mに出場する競技者には、写真判定用の「腰ナンバー標識」を配付する。ランニングパンツの右横や後方に、そのままの大きさを明確に数字が読めるようにつける。100mから400mまでの種目は腰ナンバー標識を付けない。
- (4) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（フィニッシュ前方スタンド側）に返却する。

## 3 ウォーミングアップについて（入場は競技者のみ）

- (1) 開門～最初の競技開始15分前まで、大会の準備に支障が無い範囲で競技場内のすべてのレーンをウォーミングアップで使用できる。一部のレーンなどを規制するので役員の指示に従うこと。
- (2) ウォーミングアップとして運動公園内の通路や芝生を使用してもよい。ただし、一般の利用者の通行などの妨げにならないように注意すること。また、競技に支障の無い範囲で、競技役員の指示にしがたい陸上競技場内のバックストレート付近を使用してもよい。  
男女走幅跳、男女走高跳の種目については競技の準備ができ次第使用してもよい。  
※ホームストレートのレーン使用区分は原則として次のとおりとする。  
5～7レーンは100mH、8～9レーンは110mHとする。
- (3) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。

## 4 招集について

- (1) 招集所は100mスタート付近に設ける。
- (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	種目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	40分前	20分前
フィールド競技	すべての種目	50分前	30分前
混成競技	最初の種目は上記のとおりとする。その後の種目は競技場所で20分前までに点呼する。		

## 5 競技場への入退場について

- (1) 入退場は係の指示に従い、西側（駅側）または東側のゲートより入場する。競技終了後はすみやかに退場すること。
- (2) 付き添い・引率者・保護者はスタンドのみ入場できる。スタンドの階段から入退場すること。スタンドからグラウンドへは降りないこと。座席に座って応援すること。最前列で立って応援することは禁止する。

## 6 レーン順・試技順について

トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、混成競技の最終種目を除いてプログラムの数字で示す。欠場者のレーンはある。逆走を行う場合は、スタンド側を1レーンとする。

## 7 競技について

- (1) トラック競技について
  - ①すべて写真判定装置を使用する。
  - ②短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走行して止まる。逆走の場合は、直走路を走り減速する。

(2) フィールド競技について

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従う。
- ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1個だけ使用できる。
- ③すべてのフィールド種目はトップ8を行う。

(3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことは禁止する。(TR6. 3. 2)

**8 走高跳のバーの上げ方** (ただし、天候等の状況により変更することがある。)

混成競技		練習A	練習B	1	2	3	4	5	6		
中学 四種	男子	走高跳	1m35	1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm
	女子	走高跳	1m15	1m35	1m20	1m25	1m30	1m35	1m38	1m41	以後3cm

※練習は一人2回まで行うことができる。高さについては同じ高さでも、A・B1回ずつでもよい。

**9 競技用器具について**

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

**10 競技用靴について**

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

ランニングシューズで出場する場合、靴底の厚さはすべての種目で20mm以内とする(TR5)。使用するシューズが適正であるかは、各自でWAのシューズリストを確認しておくこと。

\*WAシューズリスト→ [LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES](#)

違反の場合は、失格扱いとなる。

**\*サークルで実施する投てき種目のシューズ制限は除外する。(2026年4月10日～陸連通達より)**

**11 表彰について**

四種競技については、8位まで表彰する。

**12 その他**

- (1) 氏名・所属等の間違い、訂正があれば本部に申し出ること。
- (2) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。盗難に注意すること。
- (3) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**救護室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。**
- (4) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任をもって行き、環境美化に努める。  
※ゴミ問題は深刻な状況です。各自自宅へ「ゴミの持ち帰り」をお願いします。
- (5) 記録の掲示は行わない。携帯速報より確認すること。
- (6) 四種競技の控え場所を100mスタート地点後方の倉庫に設ける。四種競技の番組編成も控え場所に掲示する。
- (7) 全国大会の標準記録を突破した学校・団体の代表者は、**競技終了後に正面入口で説明を受け、7/26の県総体終了後の監督会議に必ず出席すること。**  
**【全国標準記録】 男子四種 2580点 女子四種 2650点**
- (8) 個人情報の扱いについて

愛知陸協は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

(9) カメラ・ビデオ等の撮影は、出場の団体・学校関係者のみとする。

観客席からの撮影制限について

- ① 観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。
  - ・各種目のスタート後方
  - ・走高跳、走幅跳、三段跳の助走後方・着地前方
  - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ② 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- ③ 競技者がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や体を動かしているなど準備の行動の撮影は禁止します。
- ④ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡をとらせていただきます。